

第七十四回  
帝國議會  
貴族院

# 宗教團體法案特別委員會議事速記録第十九號

昭和十四年二月二十二日(水曜日)午前十時八分開會

○委員長(伯爵柳原義光君) ソレデハ是ヨリ特別委員會ヲ開會致シマス

○大塚惟精君 私ハ此ノ場合修正ノ動議ヲ提出致シマス、ソレハ第四條中ノ「五年内ノ年賦延納」トアリマスノヲ「十年内ノ年賦延納」ニ改メ、但書ヲ……

○委員長(伯爵柳原義光君) チョット申上デマスガ、討論ニ入ルト云フコトヲ宣告スルコトヲ私忘レマシタ、討論ニ入リマス、サウシテ大塚君

○大塚惟精君 私ハ此ノ場合修正動議ヲ提出致シマス、本案第四條中「五年内ノ年賦延納」トアリマスノヲ「十年内ノ年賦延納」ニ改メ、但書ヲ削リマス、但書ハ「但シ國債ヲ以テ擔保ヲ供シタルトキハ十年内ノ年賦延納ヲ認ムルコトヲ妨グズ」此ノ但書ヲ削除致シタイ、理由ハ各位ノ御質問中ニモ度々現レテ居リマシタシ、又昨日質疑ノ形ニ於テ本員カラ詳細申シテ置キマシタカラ、茲ニ繰返スコトヲ省キマスガ、要ハ賣拂代金ノ納付ヲシテ無理ナカラシメ、其ノ間ノ期限内ノ完納ノ期シタイト云フニ出ルノデ

アリマス、詳細ノ理由ハ昨日質疑ノ形ニ於テ述ベテ置キマシタカラ、以上ニ止メマス  
○子爵大河内輝耕君 只今大塚委員カラ御提案ニナリマシタ修正案ハ、先日來皆様ノ御趣旨モ能ク承リマシタ、本案ノ精神ヲ貫徹スル上カラ云ツテモ、又寺院ノ實情ニ徴シマシテモ、誠ニ相當ナ修正案デアルト存ジマス、殊ニ政府當局モソレニ同意スルト云フコトヲ言明サレテ居リマスノデ、旁、其ノ通り修正サレテ差支ナイモノト存ジマス、其ノ意味ニ於キマシテ私ハ其ノ案ニ贊成致シマス

○田所美治君 只今意見ヲ申上ゲル譯ナノデアリマスネ、大塚君ノ本案ニ對スル第四條ノ修正ニ付テハ、昨日モ懇談會デ承リマシタ、大體異議ナイコトヲ申上ゲテ置キマシタガ、私モ修正案ノ通り全然異議ゴザイマセヌ、本案ハ長イ間ノ懸案デ、所謂今日デハ理窟ヲ除ケテ、政治的解決ト申シマスカ、數十年來ノ排佛毀釋ノ時ノ土地處分ノ全部解決、ソレガ今度ノ宗教團體法ノ制定ト相俟ツテ財産ノ管理ノ途モ立ツシ、寺院ガ法人タルコトモ確認セラレマシタシ、又此ノ財産ヲ貫ツタ所デ、其ノ財産ノ管理及處分ニ關

シマシテハ宗教團體法ニモ嚴密ナ規定ガアリマス、總代ノ同意モ得、管長ノ同意モ得マスシ、又地方長官ノ認可ヲ得ナケレバ處分ハ出來ヌ、斯ウ云フヤウナ財産管理ノ規定モ整ツタ譯デアリマスカラ、此ノ際無償デ長イ間土地ニナッテ居ッタ部分ヲ寺院ニ返還シテヤル、讓與シテヤル、斯ウ云フ意味ノ其ノ理窟ニ付テハ、先日來質疑應答ヲ致シマシタ關係デ色々考ヘラレマセウケレドモ、斯ウ云フ案ガ十數年來出來テ居リマシテ、所謂政治的ノ國策ニ伴フ解決ヲヤル、斯ウ云フ趣旨カラ出來テ居ル譯デアリマス、只今ノ大塚君ノ修正ノ如キ其ノ意味カラ考ヘマシテ、出來ルダケ其ノ目的ヲ達セシムルニ都合ノ好イ、即チ言ウテ見レバ財産ヲ讓與、或ハ還付シテヤルト云フ意味ニ於キマシテ、最終ノ完全ナル決定ヲスルト云フコトニ付テハ、私自身カラモ色々此ノ間質疑ヲ致シテ居リマシタヤウナ點ト同様デアリマシテ、極メテ寛容ニ大眼目ノ達成ヲ期スル、斯ウ云フ意味ニ副フ修正ダラウト私ハ考ヘルノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ五年ヲ十年ニシテ尙無償讓與ノ趣旨ヲ徹底セシメル、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ何

等異議モゴザイマセヌ、唯私ハ今後此ノ財産ヲ寺院ガ貰ヒ受ケマシテ、固ヨリ只今申上ゲルヤウナ色々管理或ハ處分ニ付テノ制度規定ハアリマスケレドモ、文部省ニ於テ宗教團體ヲ保護シ、指導シ、又此ノ財産モ増シテヤリマシテ、サウシテ興學布教ト云フコトニ資スル、宗教ノ信仰ニ資スル、斯ウ云フコトノ大資料ヲ是ハ得ル譯デアリマスカラ、本案ノ趣旨ヲ達成シマスニ付テハ、大藏省ト文部省ガ密接ナ關係ヲ以テマシテ、財産ハ大藏省デ無償デヤル切り、其ノ後ハ知ラヌ、文部省デハ又大藏省ガヤルノデアルカラ、一方ノ精神上ノ方ダケハヤルト云フヤウナコトナシニ、此ノ財産ニ依リマシテ宗教團體法ノ宗教信仰ノ目的ノ達成ガ出來ル、斯ウ云フコトニ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、丁度此ノ間出タ取締ニ付テ内務省トノ密接ナル連絡ヲ圖ルノ必要ガアルト同様ニ、又此ノ財産ヲ無償讓與スルト云フ其ノ行爲、又其ノ後ニ付テノ深甚ナ留意ヲ宗教行政ノ方デハ拂ハレナケレバナラヌ、斯ウ考ヘルノデアリマス、サウ云フヤウナ事柄ハ固ヨリ此處デ述べル必要ノナイコトデアリマスケレドモ、此ノ十數年

間ノムヅカシイ懸案ヲ茲ニ解決ノ出來タト云フ、時代ヲ劃スル大キナ處分デアルノデアリマスカラ、政府當局ハ相連絡シテ趣旨ノ達成ニ十分ノ御留意ヲ望ミマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 賛成者ガアリマシタカラ、此ノ動議ハ成立致シマシタ、一般ノ討論ヲ修正ト共ニ御許シ申上ゲマス、既ニ田所サンガ討論ナサツテ居リマスガ、他ノ諸君モ討論ヲ願ヒマス

○男爵千秋隆君 私ハ只今大塚君ヨリ御出シナリマシタ修正案ニ付キマシテ、全然賛成ヲ致シマス、誠ニ本案ヲシテ更ニ完全ノモノニナラシメタモノト考ヘマス、ソレデ此ノ際一言、好イ機會デゴザイマスカラ、賛成ノ意見ヲ申述べタク存ジマス、御承知ノ如ク本案ハ舊イ由來ヲ持チマシタ案件デゴザイマシテ、貴衆兩院ニ請願其ノ他ノ形式ヲ以チマシテ出デ参ッタモノデアリマスルガ、大イニ其ノ場合ニ於テハ、皆様モ御承知デゴザイマセウガ、世ノ中ヲ騒ガシタヤウナコトガ度々アツタノデアリマス、而シテ其ノ運動ガ非常ニ激シウナリマシテ、且世間ヲ驚カスト云フヤウナ有様デアリマシテ、神聖ナル宗教ノ權威ヲ或ハ汚スヤウナコトガナイカト疑ツタ程ニ、其ノ運動ガ非常ニ激シクナツタノデアリマス、ソレデ

私ナドハ早く此ノ問題ガ解決致シマシテ、佛教振興ニ聊カデモ障リガアルヤウナコトニナラヌヤウニ、餘リ此ノ宗教ト云フヤウナ神聖デアアルベキモノガ俗ト云フヤウナコトニ墮シテハ困ルト思ッテ、早く之ガ極リガ著クヤウニ望ンデ居ッタノデアリマス、併シ何分ニモ宗教團體法或ハ宗教法ト云フモノノ制定ガ非常ニ遷延シタ爲ニサウ云フ希望ガ充タサレナカッタノデ、私ハ宗教界ノ爲ニ、斯ウ云フ運動ガ餘リ本務ヲ離レテ現レルト云フコトヲ喜バナカッタノデアリマス、神社ノ場合ニ於キマシテモ、昇格ノ運動トカ或ハ臨時神社費ト豫算ニハ出テ居リマスガ、營繕費ヲ我が社ニ多く取ラウト云フヤウナコトニ熱誠ナル餘リ、官國幣社ノ宮司ナドガ出テ來テ諸處方々ニ運動フスルト云フコトハ、私共トシテハ神明ノ大前ニ奉仕スルノガ本務デアアルニ拘ラズ、サウ云フコトヲスルノハ誠ニ面白クナイコトト思ッテ居ッタノデアリマス、ソレト丁度同ジヤウナ工合デ、佛ノ本尊ノ前ニ勤メテ居ッテ、宗教心ヲ鼓吹シ、信仰心ヲ世間ニ深カラシメルト云フ職務ヲ忘レテ、ト云フト少シ言ヒ過ギマスルガ、サウ云フコトヨリモ境内地ヲ貫ヒタイト云フヤウナコトデ餘リ運動フスルト云フコトハ面白クナカッタノデアリマス、

然ルニ此ノ度此ノ案ガ諸先輩並同僚諸君ノ精緻ナル御檢討ニ依リマシテ修正改善セラレマシテ、茲デ將ニ可決サレヨウト致シマスコトハ、獨リ佛教寺院ノ基礎ヲ安固ニ致スバカリデナク、此ノ俗的ノ運動ヲ茲デ根絶スルト云フコトニナリマシテ、其ノ方カラ申シテモ、誠ニ世間ニ對シテ、宗教ノ騷ガシイ運動ガナイト云フコトニナツテ誠ニ喜ブ次第デゴザイマス、元來佛教ハ我が國ニ渡來致シマシテカラ千年餘モ經ッテ居リマシテ、我が國ノ社會生活ハ勿論、文化方面ニ融ケ込シタ所ノモノデアリマシテ、弊害モ勿論アルデアリマセウケレドモ、思想上竝ニ宗教界ニ貢獻スル所ノ佛教ト云フモノハ大イナルモノガアルト云フコトヲ認メテ居リマス、是ガ今日、明治維新ノ際ニ上地セラレマシタ土地ガ完全ニ讓渡セラルルヤウナ法律ガ茲デ行ハレルト云フコトハ當然ノコトデ、誠ニ適當ナル處置ト考ヘル次第デアリマス、第四條ノ規定ガ五年ガ十年年賦トナリマスハ、誠ニ只今申上ゲマシタ如ク良キ修正デアリマシテ、私ハ之ヲ無償ニテ讓渡セラル、ノモ宜イカト云フ位ニ考ヘテ居ッタノデアリマス、此ノ左様ニ考ヘマス意味合ハ、他ニ又サウデナイ方ガ宜イト云フ御意見ガアルカモ分リマセスケレドモ、私ノ其ノ

一ツノ意味合ト申シマスノハ、寺院ガ此ノ度折角恩典ヲ受ケタニ拘ラズ、無理ニ負債ヲシテ之ヲ拂ツタ爲ニ却テ永ク果ヲ受ケマシテ、十分ニ宗教上ノ活動ガ爲ニ阻碍サレルヤウナコトガアツテハナラヌト云フ意味カラ、斷ヲ得テ望ムヤウナ考ヲ持ッタノデアリマスガ、併シ只今茲デ十年ニ年賦ヲ御延シニナツタト云フコトハ、蓋シ中正ヲ得ラレタコトト考ヘテ賛成致ス次第デゴザイマス、何卒政府ニ於カレマシテモ此ノ讓渡ヲ十分ニ寛大ニ爲サレテ、又審査會モ、此委員會ノ劈頭ニ申上ゲタ如ク、其ノ委員ノ人選等モ須ラク嚴重ニ爲サレマシテ、合理的ノ解決ヲ速カニ爲サレルコトヲ希望致シマス、以上ハ誠ニ簡單デアリマスガ、聊カ賛成ノ意ヲ此ノ際申上ゲタイト存ジマシテ、申述べテ置キマス

○子爵岡部長景君 私モ大塚君ノ提起ノ修正ノ動議ニ全然賛成致シマス一人デアリマス、勿論尙其ノ修正ヲ加ヘタ上ニ於テ、此ノ法律案全部ニ賛成ヲ致シマス、管々シク申上ゲマセスガ、要スルニ此ノ法律ハ明治維新以來ノ懸案ノ全ク劃期的ノ法律デアリマシテ、所謂大慈悲ノ法典トモ謂フベキモノト思フノデアリマスガ、今千秋男爵ノ述べラレタ通り、此ノ實施竝ニ寺院ノ將來ニ對

シテハ、更ニ十分慎重ナル考慮ヲ要スルコトハ申ス迄モナイト思フノデアリマス、尙委員ノ質問ニ對シテ政府委員カラシテ色々ノ言明ガアリマシタガ、是ハ單ニ政府委員ノ答辯ト云フノデナク、是ハ帝國政府ノ本問題處理ニ對スル言明ト云フ風ニ了解シテ、其ノ言明ノ趣旨ヲ十分ニ守ツテ、此ノ問題ヲ處理シテ戴キタイト云フコトヲ重ネテ希望シテ置ク次第デアリマス、此ノ意味ニ於テ私ハ贊成ヲ致シマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 討論終結ト認メテ宜シウゴザイマスカ、他ニ御意見ノ御陳述ハアリマセヌカ……討論終結致シマシタ、續イテ採決ニ入リマス、大塚委員ノ提出ニ係ル修正條項ヲ可トスル御方ノ舉手ヲ請ヒマス

(總員舉手)

○委員長(伯爵柳原義光君) 全會一致ト認メマス、其ノ他ノ條項ハ可トスルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵柳原義光君) 御異議ナイト認メマス、是ニテ寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財産ノ處分ニ關スル法律案ヲ修正可決致シマシタ、散會致シマス

午前十時二十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵柳原 義光君  
副委員長 男爵松岡 均平君  
委員

公爵一條 實孝君  
侯爵細川 護立君  
子爵大河内輝耕君  
子爵岡部 長景君  
子爵舟橋 清賢君  
男爵千秋 季隆君  
小原 直君  
内田 重成君  
塚本 清治君  
下村 宏君  
男爵北島 貴孝君  
田所 美治君  
大塚 惟精君  
久保市三郎君

政府委員

大藏參與官 矢野庄太郎君  
營繕管財局理事 江口 順一君  
文部省宗教局長 松尾 長造君

貴族院宗教團體法案特別委員會  
議事速記録第十五號正誤

頁 二  
段 二  
行 一  
誤 尊嚴  
正 尊敬

昭和十四年二月二十二日印刷

昭和十四年二月二十三日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局